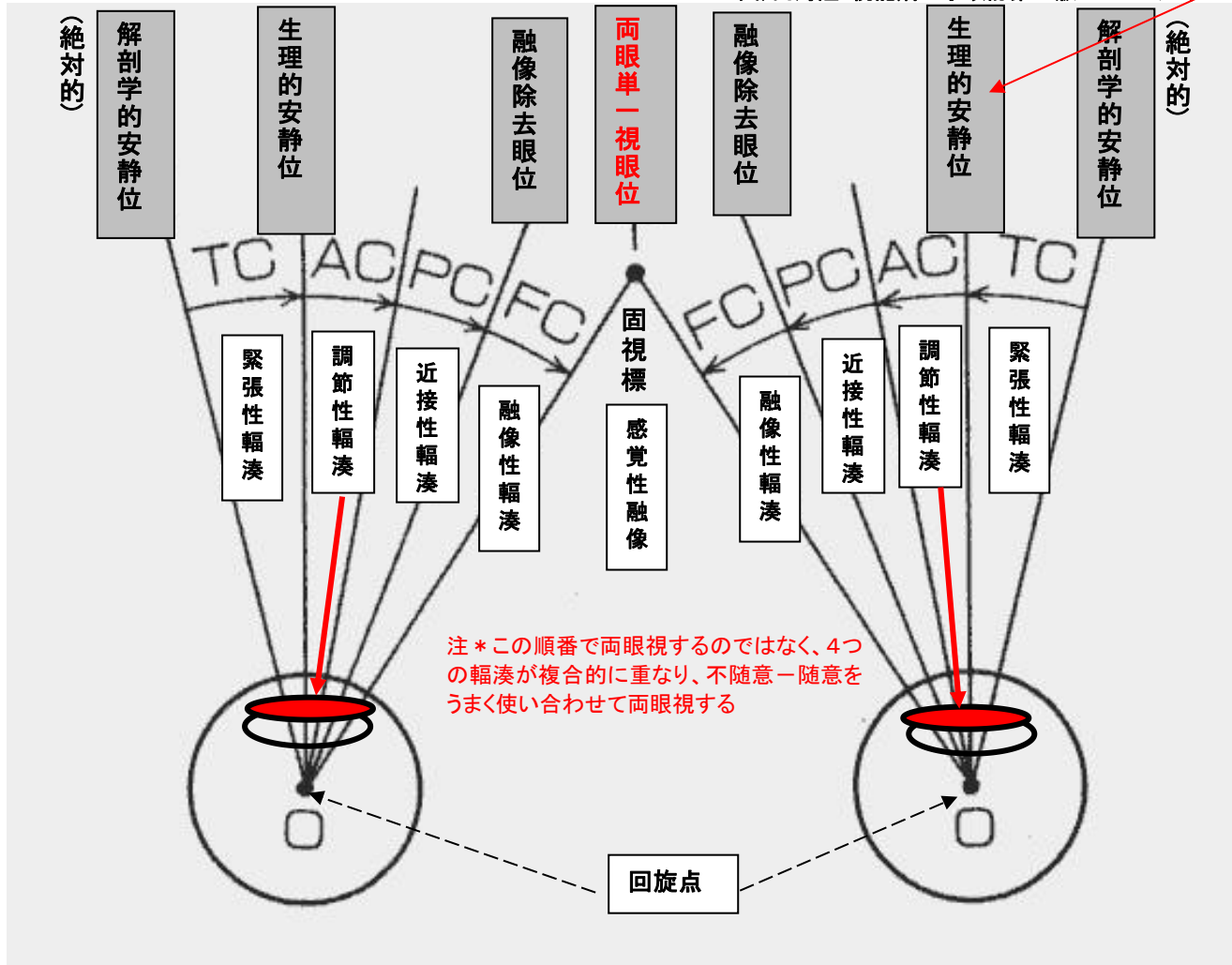


# 正常者が左右眼を目標に向けるまでの眼位(日常の両眼視眼位)と輻湊の種類

図)内海隆:視能矯正学改訂第2版 P178 に加筆



定義が曖昧だがやはり緊張性輻湊後とする

**解剖学(絶対)的安静位** 死後、昏睡、深い麻酔時の眼位。

**緊張性輻湊; TC** 両眼が遠方の1点を単一視するまでの輻湊。覚醒時に常に存在し睡眠時にはない。外眼筋の緊張(生理的トーンスのこと)これが過剰なら内斜視に、不足なら外斜視になると言われている。内海隆:視能矯正学 P178 より

**生理的安静位** 外眼筋の緊張(生理的トーンスのこと)が働いている眼位。

(視能学第2版 P164 では麻酔・深い睡眠中となっているが、P185 12の方とする)

**調節性輻湊; AC** 調節に伴う輻湊。目標距離にピントをあわせようとして起こる。輻湊と調節(縮瞳)はセットになっているが、ACには個人差がある。その値を示すものとして、AC/A 比(単位調節量に対する調節性輻湊量)がある。

**近接性輻湊; PC** 物体が近くにあるという感覚によって起こる。(機序は、わかっていない)

**融像除去眼位** 安静位から緊張性輻湊と融像性輻湊が加わって通常的眼位となる。丸尾敏夫:視能学第2版 P 312 より  
1眼を遮閉して FC が起こらないようにした時の眼位。久保田伸枝:視能学第2版 P 164 より

**融像性輻湊; FC** 両眼が単一視する為の輻湊。緊張性輻湊の過不足を補うもの。(近見の場合は調節性輻湊、近接性輻湊が入ってくるが、これは調節など近見が原因なのでその人の基礎的眼位ではない)

融像除去眼位を決定する条件、すなわち基礎眼位ずれを決定する条件として①融像刺激の除去②遠見③第1眼位④単眼固視⑤屈折異常の矯正 丸尾敏夫:視能矯正学改訂第2版 P203 より

FCによって過剰が補えたら内斜位に補えなければ内斜視に、不足が補えたら外斜位に補えなければ外斜視になる。但し、遠見で正位又は斜位であっても、近見で高 AC/A 比の場合、FCで補えないと内斜視、低 AC/A 比の場合、外斜視となる。

**運動性融像**ともいう。

参) **感覚性融像** 補えない僅かな誤差を脳で1つにするもの。

両眼を動かさないで両眼単一視する現象。